

Vol.1

ひろしまAMR情報

— 正しく使おう抗菌薬 —

2025年
月号

薬剤耐性(Antimicrobial Resistance : AMR)とは

「薬剤耐性 (Antimicrobial Resistance : AMR)」におけるレビューとして2014年のO' Neillらの報告では、全世界中のAMRにおける死亡者数は無対策では2013年の70万人から、このまま何も対策をしないと2050年に1000万人に上がり、がんによる死亡者数を上回ると報告されました¹⁾。現在、様々な対策が実施されていますが、先日米ワシントン大学健康指標評価研究所から報告されたデータでも、2050年の薬剤耐性による死亡者数は減少していません²⁾。

1) Antimicrobial Resistance: Tackling a crisis for the health and wealth of nations The Review on Antimicrobial Resistance Chaired by Jim O' Neill December 2014

2) Global burden of bacterial antimicrobial resistance 1990-2021: a systematic analysis with forecasts to 2050, GBD 2021 Antimicrobial Resistance Collaborators, Lancet 2024; 404: 1199-226

広島県AMR対策連携グループ報告～抗菌薬使用状況～

AWaRe分類 (アウェア分類) は、世界保健機構 (WHO) が2017年に発表した抗菌薬の分類システムです。これは、抗菌薬をAccess (アクセス)、Watch (ウォッチ)、Reserve (リザーブ) に分類した抗菌薬の適正使用に向けた指針になります。WHOは、WatchやReserveに分類された抗菌薬を安易に使用しないことを求めており、それらの使用割合を40%以内にするこことして結果としてAccessを60%以上にすることを目標としています。

今でも本来抗菌薬が不要である病態 (一般的な感冒や胃腸炎など) に対して、抗菌薬が処方されることが散見されます。我々、処方側が意識して抗菌薬を使うことで適正使用につながります。

● 抗菌薬使用状況 ●

DDD_s (使用量/DDD) (%)

Legend: Access (green), Watch (yellow), Reserve (red), Not recommended (purple), 未分類 (grey)

グループ参加施設

グループ内加算3施設集計
グループ内加算2施設集計
グループ内加算1施設集計

※ 施設：40施設 対象：外来 (内服) 期間：2024年4月～9月 比較：AWaRe分類 3施設以下の地区は非表示

● 2次医療圏別集計 ●

呉、広島中央、尾三、備北」は対象施設が少ないため、未表示

DDD_s (使用量/DDD) (%)

01_広島 02_広島西 03_呉 04_広島中央 05_尾三 06_福山・府中 07_備北

・ Accessの割合を60%にすることが目標として定められています (赤点線)。

・ Accessの割合が60%以上は2施設です (平均値±標準偏差：29.0%±15.5%、範囲：2.7～69.0%)。

・ 加算種別では、加算2 (35.6%) が最も高く、次いで加算1 (28.5%) 加算3 (21.3%)の順です。



広島県内の抗菌薬使用状況と薬剤耐性状況等を調査しています

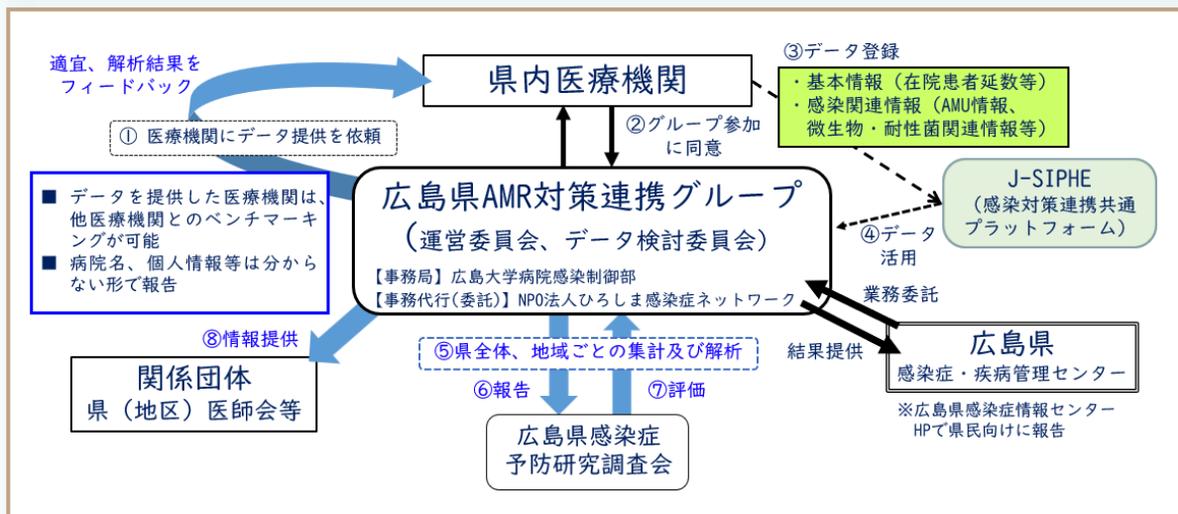
皆様のご参加をお待ちしています



広島県の取り組み

広島県では、広島県内医療機関における薬剤耐性菌と使用抗菌薬のサーベイランスを実施するために、感染対策連携共通プラットフォーム(Japan Surveillance for Infection Prevention and Healthcare Epidemiology: J-SIPHE)*を活用し、医療圏毎での抗菌薬使用状況と薬剤耐性菌検出情報を、比較的簡易に、且つ継続的な活動が可能な仕組みを構築しています。

*厚生労働省委託事業AMR臨床リファレンスセンターが主体となり稼働・運用しています。様々な感染症関連のデータを集計し、図表で可視化でき、自施設やグループ内にて、感染対策の強化に活用可能です。



また、広島県における地域ごとの抗菌薬使用状況と薬剤耐性状況等を調査・解析し、その解析結果を医療機関や県民等に周知することによって、医療機関における抗菌薬の適正使用を推進するとともに、県民の薬剤耐性菌に関する知識の向上を図ります。

これにより、

- ・ グループのデータとの比較による自施設の薬剤耐性菌対策推進
- ・ 地域アンチバイオグラムを参考にした県内医療機関における適切で効果的な薬剤耐性菌対策の推進
- ・ 県民の薬剤耐性菌に関する知識の向上

が期待されます。

参加医療機関：J-SIPHE へ「AMU 情報」と「微生物情報」を登録し、当グループへ参加した医療機関
(2025年1月1日現在 45施設：加算1(20施設)、加算2(12施設)、加算3(12施設)、加算なし(1施設))



広島県AMR対策連携グループ

協力：広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 問い合わせ先：広島県感染症・疾病管理センター NPO法人ひろしま感染症ネットワーク (ひろしまCDC)

